

低温についての技術対策

果樹露地 低温・乾燥（冬期）

【事前対策】

（ミカン）

- ・気温が -2°C ～ -8°C に低下すると寒害が発生し、葉枯れ、枝枯れ、枯死をおこす。植栽にあたっては、気流が溜まりやすい平坦地は避け傾斜地を選ぶ。風通しの悪い場所では寒害を助長することがある。防風垣が被害を助長することもあるので下枝を払って空気の流れをよくする。
- ・苗木や幼木では、寒冷紗や不織布等で樹体を被覆し寒風に当てない。
- ・晩柑類の果実被害を防ぐためには、必ず袋かけを行っておく。

【事後対策】

（ミカン）

- ・葉枯れや落葉した場合、春には新梢が発生してくるので、3月の剪定は軽めに行っておく。
- ・枝まで枯れこんだ部分は剪除し、癒合剤を塗布する。
- ・春、新梢が発生してきたら葉面散布剤を散布し、新梢の充実を図る。
- ・果実の凍霜害については、雪害を参照。

※ 作業中及び見回り時に事故に遭わないよう十分に注意し、安全を確認の上、ほ場や施設の管理を行ってください。